



日高市立高根小中学校 学校だより

# 満天の星空

日高市立高根小中学校  
学校だより  
令和6年度 臨時増刊号  
令和6年10月21日発行

学校教育目標 『知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成』  
かしこく・自主自立 なかよく・温厚篤実 たくましく・勇壮活発  
目指す15歳像 『夢を持ち自分の行動に責任を持つ かにたっ子』



考えよう  
家族みんな  
スマホのルール  
私たちは子供たちの情報モラル育成に取り組みます  
日高市立高根小中学校

## 高根小中学校・地区大運動会



4月に義務教育学校として開校し、その象徴的な行事の1つとして、10月5日・7日に第1回高根小中学校・地区大運動会が開催されました。高根小・中の運動会・体育祭の統合だけでなく高根地区体育祭も統合して、老若男女誰もが参加できる運動会を目指しました。残念ながら雨天のため、小中学校の運動会は7日に延期致しましたが、地域の方はお仕事をお持ちの方も少なくないため、平日では参加が難しくなる方も少なからずいらっしゃるかと考え、地区体育祭の部分だけを切り離して、体育館で実施しました。受付では、代表の方のお名前のみを記入していただいた関係で、総計何人の方がご来場されたかは把握できませんでしたが、児童生徒数と合わせて、たぶん600人前後の方が、狭い体育館に集結したのではないかと思います。前半は、玉入れ合戦を実施しました。赤・青・白・橙・黄・緑の6色のチームに分かれて、白ゴールに入れると1ポイント、赤ゴールは、遠いところから投げるので3ポイント、合計点を競いました。狭い体育館なので、同時に2チーム実施することができず、1チームずつの競技でしたので待ち時間が長くなってしまいましたが、各チーム多くの玉を入れることができました。ここで1つお詫びと訂正があります。当日、ポイントを発表しましたが、別の場所を読み上げてしまい、順位に変動はありませんでしたが、ポイント数に間違いがありました。多くの児童生徒に指摘してもらいました。正確には、右表のとおりです。申し訳ございませんでした。

チーム	得点	順位
黄	198	6
青	269	1
赤	252	2
白	216	4
橙	222	3
緑	214	5

続いて、全校児童生徒・谷ヶ崎市長さんや中村教育長さんなど来賓の皆様・保護者を含む地域の方々が一緒になって日高小唄を踊ることができました。児童生徒は、地域のサークル藤よし会の皆様に手ほどきを受け、何度も練習を重ね当日を迎えました。また、藤よし会の皆様には、当日も参加していただきました。中央で見本となっただき、児童生徒も安心して踊ることができました。来年は、ぜひグラウンドでできるといいなと思いました。高根地区体育祭実行委員会からは、玉入れの景品をいただきました。順位が上のチームから順に視聴覚室で選ばせてもらいました。前期課程の児童に後期課程の生徒が「どれにする？」なんていう声かけがあり、穏やかな気持ちにさせてもらいました。最後に、お楽しみ抽選会。地域の方のみ残り、実行委員会から読み上げられたナンバーにより、当選者が発表され、景品が配布されました。感想を紙面の関係で6・9年から1名ずつ掲載させていただきます。

6年生↓

↓9年生

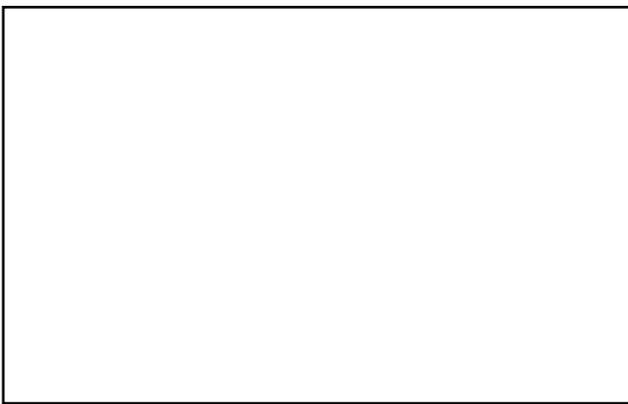
今日は雨で残念でしたが、今までにない運動会でした。すごく楽しめました！みんな笑顔でやっていたから心がポカポカしました。保護者の皆様や地域の方々に、「来てくれてありがとうございます」という気持ちでいっぱいです。玉入れのスリーポイントは、最初は絶対入らないと思っていたら、予想通りぜんぜん入らなかったです(笑)。最高の運動会でした。月曜もがんばる！

地域のみなさんと玉入れと日高小唄を踊って、黄色は玉入れで最下位だったけど、応援だったり、みんなの声などたくさんあがり、とても楽しかったです。日高小唄では、市長さんだったり、地域のみなさんで、すごく狭くて踊りづらかったけど、狭いからこそその楽しさがたくさんあったので、体育館でもよかったですと思いました。

< 10月7日に延期になった小中学校運動会 > 

朝の段階で、前々日に降った雨の影響で、グラウンド状態は決して良いものではありませんでした。しかし、8日も雨の予報。これは強行突破するしかないと思い直し、1時間遅れにしてグラウンド整備をしてからの決行としました。児童生徒の普段の行いがいいのか、途中からは陽も差し込む幸運。大運動会を実施することができました。5日の第1部では、狭くて思いっきり動くことができず、ストレスを感じていた児童生徒も少なくないと思います。本当にできてよかった！

< 1種目目 台風の日 > 3・4・8年生 



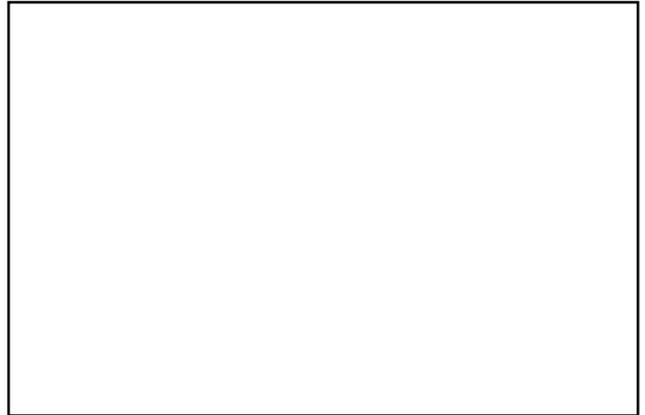
3・4年生と8年生では、走力も違うので、一緒に競技するのは危険ではないかという意見も出ました。しかし、本校の職員は、やめる理由を探すのではなく、どうすればできるようになるかを必死で考えてくれました。台風の日は、長い棒を3～4人で持ち、コーンの周りを台風の目のように回り待ち構えている他の児童生徒の足の下を通して待っている児童生徒がジャンプ。後期課程の生徒は、全力でやりたいところをちょっと我慢して、3・4年生でも跳べるようにスピードを緩めて通すな

ど、工夫して競技に取り組んでくれました。その結果、8年生が上手に3・4年生をリードしながら、白熱した競技となりました。大運動会の初めての競技を華やかなものにしてくれました。3・4・8年生の頑張りと思いやりが見事でした。

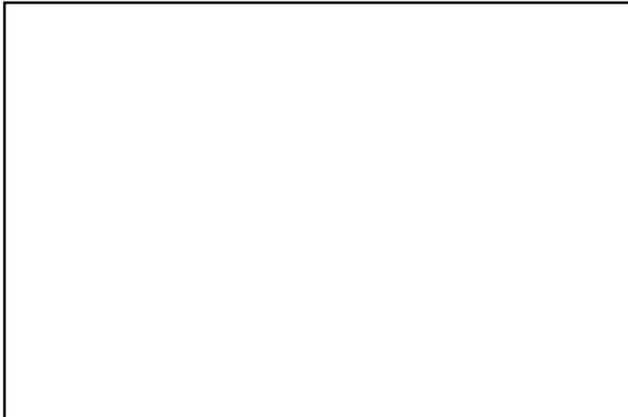
 < 2種目目 チェッコリー玉入れ > 1・2・7年生

こちらは、今まで1・2年生が行っていた、ダンスを踊ったあとに玉入れをするという競技に7年生も参戦。

7年生が玉を投げる場合は、かごから離れたところに引かれたラインの外から投げます。ダンスの場面では、お尻を振りながら踊ります。きっと7年生は恥ずかしかったことでしょうか。まさか7年生になってチェッコリーダンスを踊ることになるとは、と思った人も少なくないのではないのでしょうか。それでも7年生立派でした。1・2年生に負けじと踊っていました。もちろん1・2年生も頑張りました。1・2年生にしてみればかごの位置はかなり高いはず。それでもいくつも玉が入っていて、とてもがんばりました。今年の運動会、7年生抜きには考えられません。



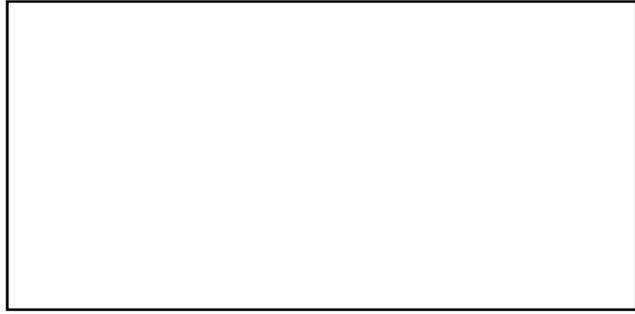
< 3種目目 助っ人綱引き > 5・6・9年生 



最初、5・6年生が、よーいドンで綱引きを始めます。10秒後にトラックコーナー中央に控えた9年生がスタート。トラックを走り、綱にたどり着いた生徒から綱引きに加わります。素早くたどり着き、縄を引き始めたチームの方が断然有利になります。実際に競技中、9年生がたどり着いた時点で、綱の位置は大きく動きました。グラウンド中央がぬかるんでいたため、異例のトラック上での綱引きとなりましたが、むしろ保護者の皆様には、目の前での競技となり、迫力もより

強く伝わったのではないかと思います。以前5人位(?)で行う綱引き大会をテレビで見ましたが、やっぱり目の前で見ると大勢の綱引きは、迫力がありますね。

< 4 種目目 応援合戦 > 1 ~ 6 年生

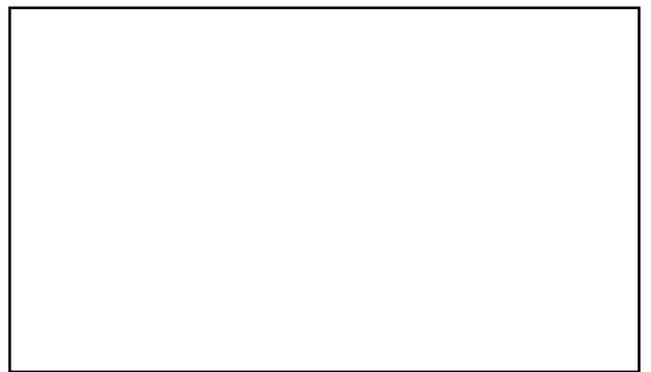


5日に  
実施され  
れば午後  
最初の予  
定でした  
が、延期  
プログラ

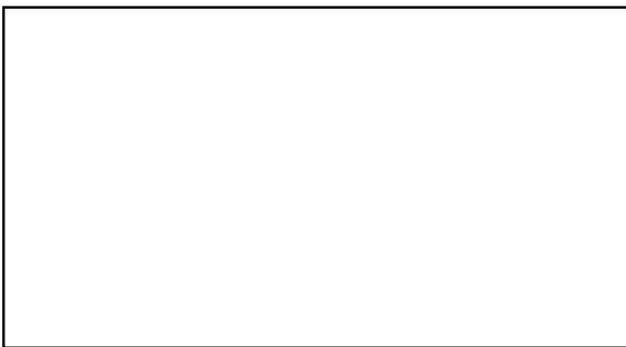
ムになってしまったため、4番目の実施となりました。6年生の両団長とも、のどは大丈夫かと心配になるぐらい大声を張り上げ、両団の優勝を目指して前期課程児童の全力を結集して応援合戦に取り組みました。9月から昼休みなどの時間を使い練習に励んできた成果が表れ、高校野球などの応援団に負けないぐらいの応援合戦でした。見事です。

 < 5 種目目 二人三脚リレー > 7 ~ 9 年生

文字通り二人三脚のリレーです。ただ、バトンが、持ったまま転ぶと危険なので、また、落としてしまうと拾えないということからゼッケンでした。バトンタッチではなく着ているゼッケンを脱いで次の組にわたし、次の組は、片方の人がゼッケンを身に付けてからスタートします。当然、タイムロスが生まれる・・・つまりただ二人三脚が上手なだけではなく、いかにゼッケンの受け渡しがスムーズに行われるかも、勝負の大きな分かれ目となりました。練習はしていたものの、本番になると焦ってしまって、うまくできないという場面も見られ、ハラハラドキドキの展開でした。



< 6 種目目 宅配便リレー > 全学年 (生徒会種目) 



1・2年生が散らばった品物を机の上のかごに入れます。3年生はハードルが上がり、じゃんけんに勝てないとかごに入れられません。4年生は、ダンボールを組み立てかごの品物をダンボールに梱包、5年生に届けます。5～9年は、それを手作りの台に乗せ100m走ります。半周するごとに乗せてあるダンボールが1つずつ増え、その上、乗せている台がダンボールの手作りなので折れてしまって運びにくい、最後までどこが勝つか分

からない展開でした。生徒会が、少しでも運動会を盛り上げようと考え、職員会議で提案して実現した種目で、オプション種目として点数には関係ない種目でしたが、児童生徒のみなさんは、本部役員の気持ちに応え、一所懸命競技を楽しんでいました。

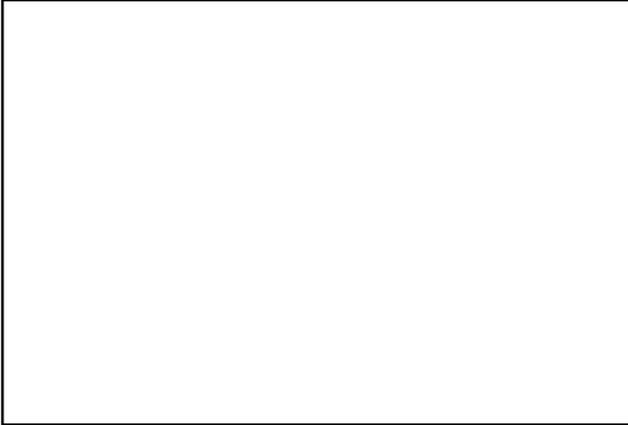
 < 7 種目目 大縄跳び > 7 ~ 9 年生

多分、7～9年生は、運動会で行った競技の中でも一番練習したのではないのでしょうか。とにかく気持ちを合わせてしっかり跳ばないと連続で跳ぶことはできません。順位は、連続で跳んだ最高回数で決まるので、連続で跳び続けることがポイントになります。特に回し手のすぐそばにいる生徒は大変です。どうしても縄が高い位置で回ってくるので高く跳び続けなければなりません。



ただ、とにかくきついのは回し手です。私も経験はありますが、次の日、腰が痛くて立ち上がれませんでした。本当にみなさん、お疲れさまでした。

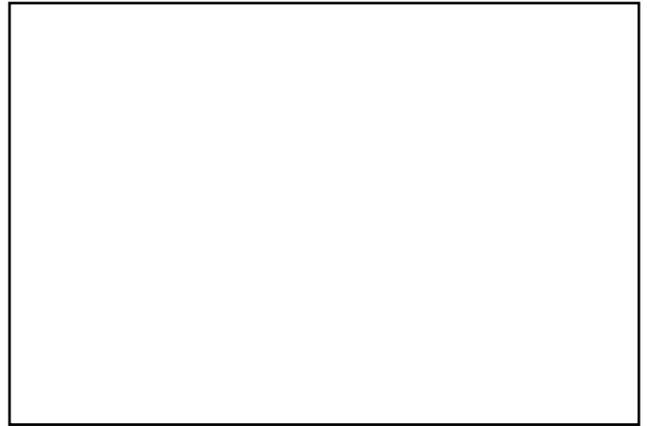
< 8種目目 選抜リレー > 1～9年代表者 



1学年各チーム1人の4チームでのリレーです。最初1年生が20m走り2年生にバトンタッチ。2年生も20m、3年生から9年生は100m走ります。各学年男子2名、女子2名でチーム編成をしていることもあり、順位が所々で入れ替わる激戦となりました。それぞれの選手が、チームを背負って出場していることもあり、真剣そのものでした。応援席からの応援の声も大きく、全員出場の競技ではなかった分、ある意味、今回の運動会で一番盛り上がった時間だったかもしれません。

 < 9種目目 団対抗全員リレー > 7～9年生

7年生から9年生までの全ての生徒でリレーを行いました。各チームの人数を合わせるために、中には2回走る生徒もいます。選抜リレーのように男女混合となりますので、順位も所々で大きく変動し、どこが勝つか分からない大激戦となりました、リレーは、バトンタッチでのタイムロスも大きく順位に関わります。そのため、練習の時に練習試合のように本番さながらのレースをしましたが、結果が同じにはならないのも全員リレーの醍醐味です。みんな全力で走ることができました。



< 10種目目 大玉送り > 全学年 



いよいよ最後の種目大玉送りです。最初は、大玉をグラウンド上を転がし、最終的に代表者が離れたところに置かれたコーンの周りを回って折り返します。帰りは、頭上から玉を送り、ゴールの上に置いた時点で勝敗が決します。ルールは単純ですが、1年生から9年生までの全ての生徒が入っているため、身長差もあり、スムーズに進めるのは結構難しい競技です。全生徒が関わるので、運動会で行われた全ての競技の中で、配点も一番高い競技となっています。大玉送りを制する者は運動会を制す

とまでは言いませんが、勝敗を大きく左右する競技には間違いありません。どうすれば、スムーズに運べるか、試行錯誤しながら一生懸命取り組むことができました。

< まとめ > 

天気予報を見ると、5日のみではなく、7日も雨が心配される状況でした。しかし、児童生徒のみなさんの思いが雨雲を吹き飛ばしてくれ、お昼前には太陽が顔を出すほど天気は回復しました。グラウンド状況も時間を追うごとによくなり、最高の大運動会を開催することができました。今回の大運動会、昨年度の高根小・中学校の運動会・体育祭に比べ、それぞれからは競技数が減っています。物足りなさを感じたかもしれません。しかし、様々な条件を考えたときに、これが今年できる精一杯でした。がまんしてがんばってくれた皆さん、本当にありがとう。児童生徒のみなさんは、本当によくがんばりました。数多くの保護者や地域の皆様にも参観していただき、記録にも記憶にも残る運動会とすることができました。これを礎にして、来年さらに進化できるよう検討していきたいと思ひます。